

大会名 Competition	第63回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技
NO. M-2	Year Month Day Time 2016 年 6 月 6 日 12 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



秋田県高等学校体育連盟  
バスケットボール専門部

主審:Referee 谷地 温  
副審:1stUmpire 佐藤 匠  
副審:2ndUmpire 小川 裕之  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代高校女子バスケットボール部

チームA 能代工	19 1st 16 20 2nd 9 22 3rd 9 20 4th 16 OT	チームB 秋田西
81 ○		50 ●

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	児玉 凜斗	CAP	11	1	4	0	0	4	／	若山 純平	CAP	0	0	0	0	0
5	×	児玉 海渡		17	0	8	1	3	5	×	佐藤 友飛		6	0	2	2	0
6	×	新田 由直		13	1	4	2	4	6	×	保坂 知星		3	1	0	0	0
7	／	石田 淳		0	0	0	0	1	7	×	工藤 悠太		8	2	1	0	1
8	／	守屋 壮次郎		3	1	0	0	1	8		八柳 唯人		-	-	-	-	-
9	×	齋藤 創		10	0	3	4	3	9	／	近藤 要		16	0	7	2	3
10	×	牧野 湧		25	0	12	1	1	10	×	石川 仁		4	0	2	0	2
11	×	佐藤 侃		-	-	-	-	-	11		齋藤 直哉		-	-	-	-	-
12	／	高橋 日向		2	0	1	0	0	12	／	澤田 将哲		11	3	1	0	0
13	／	伊東 翼		0	0	0	0	0	13	／	池田 孝大		2	0	1	0	2
14		秋元 淳之介		-	-	-	-	-	14		小玉 大地		-	-	-	-	-
15		粟屋 颯太		-	-	-	-	-	15	×	原田 聖輝		0	0	0	0	2
16		阿久津 穰		-	-	-	-	-	16		伊藤 光希		-	-	-	-	-
17		遠田 貴大		-	-	-	-	-	17		小嶋 和樹		-	-	-	-	-
18		須藤 陸		-	-	-	-	-	18		石井 大輝		-	-	-	-	-
19		鎌田 大希		-	-	-	-	-	19		桜井 夏哉		-	-	-	-	-
20		上村 悠真		-	-	-	-	-	20		和田 進之介		-	-	-	-	-
21		長谷川 優作		-	-	-	-	-	21		石川 楓真		-	-	-	-	-
コーチ		栄田 直宏							コーチ		小松 和幸						
Aコーチ		杉 沢 政							Aコーチ		石井 大輝						
合計				81	3	32	8	13	合計				50	6	14	4	10

※×:スター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は2年ぶり王座奪還を狙う能代工と、第2シードの平成、第3シードの秋田工を破り勢いに乗る秋田西のカードとなった。

第1ピリオド、先制したのは能代工。#4児玉凜のジャンプシュート、3Pで得点を重ねる。対する秋田西も#5佐藤がジャンプシュート、フリースロー2本をきっちり決める。その後能代工は#10牧野が6連続ポイントを決めたところで秋田西は1回目のタイムアウト。タイムアウト後は一進一退の攻防が続く。能代工は#5児玉海が4連続ポイントを決めるも、秋田西は代わった#12澤田石が思い切りのいい3Pを2本決める。お互いに一歩も譲らず19-16、能代工3点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、秋田西#7工藤の3Pでゲームが始まる。能代工もすかさず#10牧野がジャンプシュートを決める。秋田西は早いパス回しから#7工藤が2本目の3Pを決める。さらに#15原田のリバウンドから#9近藤へのロングパスが通りレイアップシュートが決まったところで能代工1回目のタイムアウト。タイムアウト後、能代工#9齋藤はジャンプシュートのリバウンドを自ら拾い、それをねじこむ。秋田西はインサイドの#9近藤にボールを集めるがなかなかゴールを決めることが出来ない。その間、能代工は#9齋藤、#5児玉海がジャンプシュートを決め、秋田西は2回目のタイムアウト。タイムアウト後、能代工は#5児玉海が6連続ポイントを決め点差を2桁に広げる。さらに速攻から#4児玉凜がレイアップシュート、#10牧野のリバウンドシュートが決まり39-25の14点能代工リードで前半終了。

第3ピリオド、能代工#6新田がリバウンドシュートを決めるが秋田西は#6保坂が3Pを決める。しかしその後は能代工が点を重ね、#4児玉凜、#6新田のピックアンドロールで点数が決まったところで秋田西は後半1回目のタイムアウト。タイムアウト後、セットから能代工のディフェンスを崩したい秋田西だがなかなか崩すことが出来ない。能代工は#5児玉海、#6新田、#10牧野と着実に点数を重ねる。秋田西も果敢にゴールにアタックするものの点差を縮めることが出来ず61-34能代工27点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、秋田西が#9近藤のインサイド、#12澤田石の3P、さらにはゴール下での合わせのプレイで7連続ポイントと流れをつかみかけるも、能代工も#8守屋の3P、#4児玉凜のレイアップシュートと流れを渡さない。その後、能代工は#10牧野が10連続ポイントと点差を広げる。秋田西は#9近藤がゴール下での力強いプレイからのバスケットカウントで加点するもの思うように点差が縮まらない。能代工#12高橋のレイアップシュートが決まったところでタイムアップ。81-50で能代工が王座を奪還し、インターハイへの切符を手に入れた。

